

報告案件（2）足助地域バスのあり方を考える調査について（あすけあいプロジェクト実施）

1 あすけあいプロジェクトについて

（1）目的

中山間地域の高齢者を含むすべての人が、住み慣れた場所でその人らしく、最後まで暮らすことができるよう、安全で自由な移動と、地域で安心して暮らすためのコミュニティの構築をめざした取組を行う。

（2）実施主体

あすけあいプロジェクト推進協議会（平成29年7月～平成31年3月末）
（構成員：名古屋大学、足助病院、豊田市、区長、社会福祉協議会等）

（3）取組の概要

足助・旭地区等の高齢者（主に独居高齢者）にタブレットを配布し、お出かけ促進、移動支援、健康維持を総合的に支援することで高齢者の外出促進を図る。

①お出かけ促進

健康教室やイベントの情報発信、足助病院サロンで「タブレット教室」を開催（あすけあいカーの使い方、脳トレゲーム、懐メロ視聴等）

②移動支援

- ・共助のマイカー（あすけあいカー）：地域住民がマイカーを使って高齢者を送迎
- ・タクシー相乗り（タクシム）：システムにより相乗りできる高齢者をマッチング

③健康維持（健康見守り）

「独居高齢者」の生活の状態を人感センサーで感知し、家族に伝えるとともに、足助病院を中心に地域で支援し見守る取組を実施

2 コミュニケーションアンケートの実施

（1）目的

上記②移動支援の取組においては、あすけあいカーや相乗りタクシーのみではなく、既存交通手段も含めた交通体系を整理していく必要がある。

そのため、地域住民に対して既存交通手段の一つである「足助地域バス」に関するアンケート調査を実施し、地域バスの利用促進を図るとともに、将来の地域の交通体系を検討する際の基礎データとする。

（2）内容

「足助地域バスのあり方を考える調査」を実施（平成29年9月）し、その回答者の中から無作為抽出した地域住民に対して、バスの利用に向けたアドバイスとともに、プロジェクト用回数券を送付する。

10月中旬から12月中旬にプロジェクト用回数券を利用し実際に地域バスに乗車体験していただくことで継続的な利用につなげ、足助地域バス利用者の増加を図るとともに、利用した後の感想や御意見をいただき、今後の利用促進や交通体系の検討に活用する。

3 コミュニケーションアンケートにおける足助地域バス回数券

プロジェクト用の足助地域バス回数券として発行。この回数券の発行はデザインのみの変更であり、割引や運賃の変更はなし。また、プロジェクト用の足助地域バス回数券はプロジェクト期間外でも使用可能。中部運輸局愛知運輸支局とは協議済み。

①従来の回数券



②プロジェクト用回数券



4 今後の活用について

コミュニケーションアンケートの結果を受けて、今後の利用促進や地域特性に応じた地域バスの運営形態の見直しにつなげる。